

新任式・始業式・入学式

4月6日（木）午前にな任式と始業式、午後に入學式を行い48名の新入生を迎え、令和5年度がスタートしました。

新任式では、この春、新しく村松高等学校に着任した教職員を紹介しました。

続いての始業式での校長講話、午後の入學式の校長式辞では、石山校長から生徒たちに「自分の目標を持つこと」と「言葉を大切に使うこと」の2つのことが伝えられました。

1点目の「目標をもつこと」については、今日は始まりの日であるから、小さな目標でも良いので、自分だけの目標を立ててほしい。小さな目標を一つ一つ積み重ねることで、自信となり、何かを成し遂げる、大きな夢や目標に届くことがある。

2点目の「言葉を大切に使う」ことについては、昔から言葉には不思議な力が宿り、発した言葉は「言霊（ことだま）」と呼ばれた。言葉は人を元気にもするし、逆に悲しい気持ちにもする。私たちは当たり前のように言葉の力を感じながら暮らしている。SNSでの些細な書き込みで友達とトラブルになりがちで、大人でも自分ではそのつもりがなくても人を傷つけることがある。言葉は使い方によっては、誰かを追い詰める危険な道具にもなる。

自分に目標を持ち、言葉を大切に使い、自分や周りの存在を大切に互いに成長できるようにしようと話がありました。

入学式での「新入生代表 誓いのことば」では、「中学校時代は新型コロナで行事や部活動などうまくいかないことが多かったが、保護者や先生、周りの助けで協力して乗り越えてきた。高校でも周りと一緒に協力して行動したい。高校生活では、自ら考え自主的に、積極的に活動したい」と力強く誓いの言葉が述べられました。

新入生、2・3年生とも目標を持ち、言葉を大切に、充実した学校生活を送りましょう。



村松高校の桜も咲きました



新任式



始業式



入学式